

エコアクション21

環境経営活動レポート



(期間令和元年5月～令和2年4月)

令和2年6月1日



高知県土佐市宇佐町宇佐2827番地8

TEL088-856-2422

HP <http://ryusho-kochi.jp/>



目次	頁
1. 組織の概要	3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポート対象期間及び発行日	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営管理組織体制	6
5. 環境経営目標	7 ～ 8
6. 環境経営目標の実績	9
7. 工事別環境経営目標と実績	10 ～ 15
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価	16 ～ 17
9. 次年度の環境経営活動計画の取組内容	18 ～ 19
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	20
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	21
社会貢献清掃活動等	22



発行日：令和2年6月1日
 発行責任者：環境管理責任者 近澤靖友
 次回発行予定：令和3年6月頃

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社龍生

代表取締役社長 近澤 克昌

(2) 所在地

本社	〒781-1161	高知県土佐市宇佐町宇佐2827番地8
倉庫	〒781-1161	高知県土佐市宇佐町宇佐2839番地8
資材置場	〒781-1161	高知県土佐市宇佐町宇佐64・65番地
越知支店	〒781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲1738
安芸営業所	〒784-0025	高知県安芸市津久茂町2561-4
室戸営業所	〒781-7102	高知県室戸市室津1690番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：近澤靖友 TEL：088-856-2422 FAX：088-856-2291

連絡担当者：大出順一 TEL：088-856-2422 FAX：088-856-2291
メールアドレス：rvusho@sage.ocn.ne.jp

(4) 事業内容（総合建設業）

土木工事施工管理・のり面工事施工管理・港湾工事施工管理

船舶部門

所有船舶 第二天将丸起重機船 吊能力（120t） グラブ浚渫能力（10m³）

第二号台船天将丸 積載能力（1000t）

第三号台船天将丸 積載能力（300t）

1001 龍生丸 土運搬船 積載能力（1100m³）

第68 龍王丸浚渫船 グラブ浚渫能力（22m³）主に県外で下請けで使用

(5) 事業の規模

設立年月日	昭和48年9月14日
資本金	3,360万円
年間売上高	1509百万円
従業員数	33名
建物延べ床面積	288m ² （本社、安芸、室戸、越知各事務所）
倉庫延べ床面積	233.86m ²
資材置場延べ床面積	1320m ²

(6) 許可関係

①特定建設業 許可 高知県知事許可（特-28）第002453号
許可番号 平成28年9月22日
許可年月日 平成28年10月9日から平成33年10月8日
許可の有効期間 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
建設業の種類 ほ装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

②特定建設業 許可追加
許可番号 高知県知事許可（特-29）第002453号
許可年月日 平成29年9月28日
許可の有効期間 平成29年9月28日から平成34年9月27日
建設業の種類 解体工事業

③産業廃棄物収集運搬業許可
許可番号 高知県知事許可番号03900132470
許可年月日 新規許可平成18年12月8日・更新許可平成28年12月8日
許可の有効期間 平成28年12月8日から平成33年12月7日
（自社における施工のみ）

(7) 事業年度 令和元年5月1日 ～ 令和2年4月30日 （47期）

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

対象範囲 : 全社・全活動・全組織

登録組織名 : 株式会社龍生:本社、倉庫、資材置場

: 越知支店、安芸営業所、室戸営業所

活 動 : 土木工事全般及び船舶部門

【レポート対象期間】

令和元年5月1日 ~ 令和2年4月30日

【環境経営活動レポート発行】

令和2年6月1日

【作成責任者】

環境管理責任者 近澤靖友

3. 環境経営方針

株式会社龍生 環境経営方針

《環境経営理念》

株式会社龍生は、建設工事の事業活動において、自然環境の保全並びに循環型社会に貢献するとともに、環境への負荷を低減・改善することで自社からのCO₂排出量の削減に継続的に努め「安全・安心な環境づくり」を推進してまいります。

《環境保全への行動指針方針》

1. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、次の項目を重点的に取り組みます。
 - ① 電気・化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減。
 - ② 建設現場・事務所から排出される一般廃棄物の削減及び産業廃棄物のリサイクル推進。
 - ③ 節水活動による総排水量の削減。
 - ④ 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
 - ⑤ 環境に配慮した工事の実施（施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減）。
 - ⑥ 海洋汚染等を防ぎ環境保全活動を推進します。
 - ⑦ 地域清掃やロードボランティア・海岸パートナーシップに参加します。
 - ⑧ 社員とともに働きがいのある職場づくりに努める。
2. 当社の事業活動に関連する法令、条例、その他を遵守します。
3. 全従業員にこの環境経営方針を周知し、全社をあげて取り組んでまいります。
4. 環境経営活動レポート等により、環境経営情報は広く外部公表いたします。

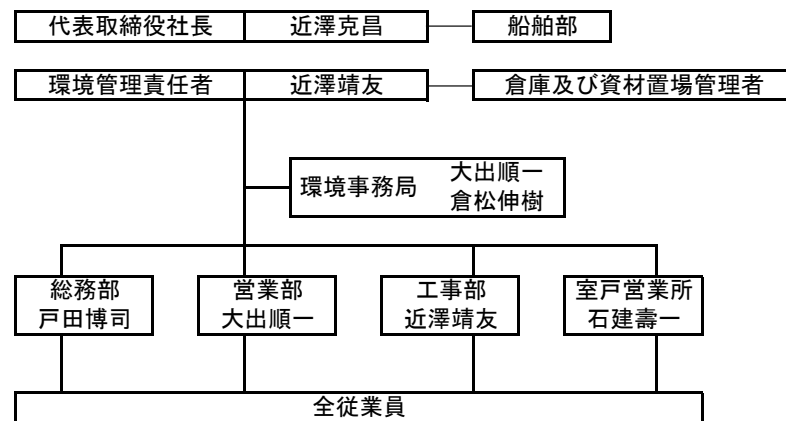
制定日：平成22年10月30日

改正日：令和2年5月8日

株式会社 龍 生

代表取締役社長 近澤 克昌

4. 環境経営管理組織体制



環境経営管理システム 役割・責任・権限

代表取締役社長	- EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - EA21の実施及び管理に必要な資源を用意する。資源には、人的資源、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。 - 環境経営管理責任者を任命する。 - 環境経営方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	- EA21を構築し、実施し、管理する。 - 環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し、承認する。 - 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 - 環境経営目標を設定し、環境経営活動計画を確認し承認する。 - 環境経営活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 - 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告する。
環境事務局	- 環境経営管理責任者の事務局。 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 「環境関連法規等の取りまとめ／遵守チェック表」原案の作成。 - 環境経営目標原案の作成。 - 環境経営活動計画原案作成。 - 環境経営活動実績集計。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
各部門長	- 自部門におけるEA21の実施。 - 自部門における環境経営方針の周知。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 工事現場におけるEA21の実施。 - 工事現場に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 工事現場における環境負荷低減活動の実施及び緊急事態対応。

5. 環境経営目標

・平成25年26年27年の3ヶ年平均を基準として令和元年5月から令和2年4月までに4%の削減を目標とする。

単年度目標

☆環境経営目標・事務所

項目	基準 (H25年～H27年) 3ヶ年平均	令和元年度目標 (4%削減) R1.5～R2.4
燃料使用量 (ℓ)	9,439	9,061
LPGガス使用量 (kg)	1,016	975
電力使用量 (kwh)	37,337	35,844
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	51,064	49,021

※電力のCO₂排出量については、四国電力の実排出係数 (0.699kg-CO₂/KWh) を使用した。

排水量 (m ³)	291.0	279.0
一般廃棄物排出量 (kg)	361	347
グリーン購入量	全品目55%購入	全品目59%購入
社会貢献清掃活動	29	29

※社会貢献活動：高知県管轄道路清掃(1回/月)土佐市管轄道路清掃(1回/月)
国土交通省管轄(海岸清掃(5回/年)合計=29回

☆環境経営目標・現場

項目	基準 (H25年～H27年) 3ヶ年平均	令和元年度目標 (4%削減) R1.5～R2.4
燃料使用量 (ℓ)	289,363	277,788
LPGガス使用量 (kg)	146	140
電力使用量 (kwh)	5,986	5,747
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	768,453	737,715
排水量 (m ³)	488.5	469.0
産業廃棄物排出量 (t)	1,954	1,876
産業廃棄物再資源化率 (%)	100	100
環境に配慮した工事の実施	全数	全数

CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂) 合計(事務所+現場)	819,517	786,736
--	---------	---------

(社会貢献清掃活動)

※ロードボランティヤ清掃活動及び海岸パートナーシップ清掃活動は現場、事務所の合同で行います。

中長期目標（年度期間5月～4月）

（令和2年度より基準値を令和元年度の実績に変更）

【事 務 所】

項目	25. 26. 27年 3ヶ年平均 基準	R 1 年度 目標 96 %削減	基準値 令和元年度 の実績に変 更	R 2 年度 目標 1 %削減	R 3 年度 目標 2 %削減	R 4 年度 目標 3 %削減
燃料使用量（ℓ）	9,439	9,061	9,681	9,584	9,487	9,391
LPGガス使用量（kg）	1,016	975	870	861	853	844
電力使用量（kWh）	37,337	35,844	29,186	28,894	28,602	28,310
CO ₂ 排出量（kg-CO ₂ ）	51,064	49,021	45,488	45,033	44,578	44,123
排水量（m ³ ）	291.0	279	312.0	309	306	303
一般廃棄物排出量 （kg）	361	347	290	287	284	281
グリーン購入量 （事務用品及び資材）	全品 目 55 % 購入	全品 目 59 % 購入	全品 目 59 % 購入	全品 目 60 % 購入	全品 目 61 % 購入	全品 目 62 % 購入
社会貢献清掃活動 高知県管轄道路清掃 （1回/月）	12	12	12	12	12	12
社会貢献清掃活動 国土交通省管轄 海岸清掃（4回/年）	5	5	5	5	5	5
社会貢献清掃活動 土佐市管轄道路清掃 （1回/月）	12	12	12	12	12	12
社会貢献清掃活動合計	29	29	29	29	29	29

※グリーン購入量は平成28年度（55%）から購入増加率を前年度1%の増加で推移し、エコ商品の普及状況等で見直しをする。また全体の購入数の内3品目以上はグリーン製品とする。

【現 場】

（令和2年度より基準値を令和元年度の実績に変更）

項目	25. 26. 27年 3ヶ年平均 基準	R 1 年度 目標 96 %削減	基準値 令和元年度 の実績に変 更	R 2 年度 目標 1 %削減	R 3 年度 目標 2 %削減	R 4 年度 目標 3 %削減
燃料使用量（ℓ）	289,363	277,788	221,989	219,769	217,549	215,329
LPGガス使用量（kg）	146	140	100	99	98	97
電力使用量（kWh）	5,986	5,747	6,444	6,380	6,315	6,251
CO ₂ 排出量（kg-CO ₂ ）	768,453	737,715	587,222	581,350	575,478	569,605
排水量（m ³ ）	488.5	469	267.0	264	262	259
産業廃棄物排出量 （t）	1,954	1,876	312	309	306	303
産業廃棄物再資源 化（%）	100	100	100	100	100	100
環境に配慮した工 事の実施（件）	元請全工事	元請全工事	元請全工事	元請全工事	元請全工事	元請全工事
CO ₂ 排出量（kg-CO ₂ ）合 計（事務所+現場）	819,517	786,736	632,710	626,383	620,056	613,729

※環境に配慮した工事の実施については元請工事を対象としています。

※中長期的な目標を設定しておりますが、市場の状況によって基準年及び基準値を見直します。

6. 環境経営目標の実績

☆環境経営目標及び実績(令和元年5月～令和2年4月)

「事務所」

項目	25. 26. 27年度 3ヶ年平均 基準	R1年度目標 (4%削減) R1. 5～R2. 4	R1年度 実績 R1. 5～R2. 4	R1年度 削減率% R1. 5～R2. 4
燃料使用量 (ℓ)	9, 439	9, 061	9, 681	6. 8
LPGガス使用量 (kg)	1, 016	975	870	▲ 11
電力使用量 (kWh)	37, 337	35, 844	29, 186	▲ 19
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	51, 064	49, 021	45, 488	▲ 7
排水量 (m ³)	291. 0	279	312. 0	12
一般廃棄物排出量(kg)	361	347	290	▲ 16
				達成率%
グリーン購入量 (3品目以上)	全品目55%購入	全品目58%購入	全品目59%購入	100
社会貢献清掃活動(回)	29	29	26	90

※削減率＝(実績-目標)÷目標×100
※グリーン購入はグリーン品目÷全購入品目×100 ※目標は3ヶ年平均 (55%) の1%削減とする。
※社会貢献清掃活動は現場、事務所の合同で行います。(ロード・ボランティア)
※社会貢献清掃活動は実績÷目標×100
※社会貢献活動：高知県道路清掃(1回/月)土佐市道路清掃(1回/月)国土交通省(海岸清掃(5回/年)合計＝29回

☆環境経営目標及び実績(令和元年5月～令和2年4月)

「現場」

項目	25. 26. 27年度 3ヶ年平均 基準	R1年度目標 (4%削減) R1. 5～R2. 4	R1年度 実績 R1. 5～R2. 4	R1年度 削減率% R1. 5～R2. 4
燃料使用量 (ℓ)	289, 363	277, 788	221, 289	▲ 20
LPGガス使用量 (kg)	146	140	100	▲ 29
電力使用量 (kWh)	5, 986	5, 747	6, 444	12
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	768, 453	737, 715	587, 222	▲ 20
排水量 (m ³)	488. 5	469	267. 0	▲ 43
産業廃棄物排出量(t)	1, 954	1, 876	312. 2	▲ 83
産業廃棄物再資源化率(%)	100	100	100	100
				達成率%
環境に配慮した 工事の実績 (件)		元請工事を対象と しています。	元請工事全数 (8/8)	100
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)合 計(事務所+現場)	819, 517	803, 127	632, 710	▲ 21

全工事が対象であるが、環境に配慮する工事は元請を対象とする。(H25年度より実施) 対象工事÷全体工事×100%＝達成率

☆CO₂排出量の推移

項目	単位	年度	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
売上高	百万円		946	1, 376	1, 144	1, 014	1, 002	959	1, 509	
CO ₂ 排出量	t-CO ₂		1, 022	730	678	867	613	809	631	
売上高百万円 当たりのCO ₂ 排 出量原単位	t-CO ₂ / 百万円		1. 080	0. 531	0. 592	0. 855	0. 612	0. 844	0. 418	

※電力のCO₂排出量については、四国電力の実排出係数 (0. 699kg-CO₂/kwh) を使用した。
※H25. H26年度については、電力事業者別のCO₂排出係数の実排出係数 (0. 407kg-CO₂/Kwh) を使用しているが3年間の平均値については (0. 699kg-CO₂/Kwh) を使用し平均化しています。排出係数は (2019公表0. 5kg-CO₂/Kwh) にR2年度から変更

7. 工事別環境経営目標及び実績

工 事 名	平成31年度 竜地区環境景観保全事業蟹ヶ池-5整備工事
工 期	R1. 5. 28 ～ R1. 12. 13
場 所	高知県土佐市宇佐町竜
概 要	遊歩道整備
契 約 金 額	49,258,000

☆環境目標(現場内で使用するもの)

項目	使用予定量	目標 4%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	1,414.0	1,357.4	1,064.0	-21.6	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	58.0	55.7	66	18.5	
軽油 (ℓ)	1,356.0	1,301.8	998	-23.3	
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	3,693.3	3,545.5	2,772.3	-21.8	
ガソリン (ℓ)	134.7	129.3	153.2	18.5	
軽油 (ℓ)	3,558.6	3,416.3	2,619.1	-23.3	
使用材料					
アスファルト量 t	215.1		190		
砕石m ³	352.4		360.0		
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻m ³			2.7		再資源化率 (100%)
アスファルト殻m ³			5.3		"

電気量 (kg-CO₂) 使用量(kW/h) × 0.699=kg-CO₂/kWh
ガソリン 使用量(l) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg) =kg-CO₂
軽油 使用量(l) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg) =kg-CO₂
灯油 使用量(l) × 0.0679 (kg-CO₂/MJ) × 36.7 (MJ/kg) =kg-CO₂
達成率 (実績-目標)/目標 × 100
※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価
①CO ₂ 削減目標は達成できた。 ②休憩時間及び不要な時間はエンジンを停止した。 ③過負荷をかけず注意して機械操作を行った。

※電力のCO₂発生量については、電力事業者別のCO₂排出係数(2014年12月公表)の四国電力の実排出係数(0.699kg-CO₂/KWh)を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



超低騒音型アスファルトフィニッシャー



低騒音・排出ガス対策型 0.15m3バック



周辺道路を粉塵対策で散水



低騒音型ガイドローラー

工事別環境経営目標及び実績

工 事 名	漁高潮第926-2-1号宇佐漁港海岸（竜地区）高潮対策工事
工 期	R1. 6. 20 ～ R2. 3. 10
場 所	高知県土佐市宇佐町竜
概 要	防潮堤L=34.4m 鋼管杭工N=25本 上部コンクリートL=9.9m
契 約 金 額	119,581,000

☆環境経営目標（現場内で使用するもの）

項目	使用予定量	目標 4%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	144,595.6	138,811.8	115,921.5	-16.49	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	8.6	8.3	35	317.88	
軽油 (ℓ)	144,587.0	138,803.5	115,887	-16.51	
電気量 (kW/h)			3,573.0		
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	715,127.3	686,522.2	573,177.1	-16.51	
ガソリン (ℓ)	335,681.9	322,254.6	269,050.2	-16.51	
軽油 (ℓ)	379,445.4	364,267.6	304,126.9	-16.51	
電気量 (kW/h)			2,497.5		
使用材料					
鋼管杭 t	63.4		63.4		N=25
生コンクリート量m ³	17.0		22.9		
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻m ³			24.6		再資源化率（100%）
木、根、株 t			8.0		再資源化率（100%）

電気量 (kg-CO₂) 使用量 (kW/h) × 0.699=kg-CO₂/kWh
 ガソリン 使用量 (ℓ) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg)=kg-CO₂
 軽油 使用量 (ℓ) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg)=kg-CO₂
 達成率 (実績-目標)/目標 × 100
 ※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価

- ①CO₂削減目標は達成できた。
- ②予定の工程よりも早く施工が完了できた。
- ③鋼管杭の打ち込みがスムーズにできた。

※電力のCO₂発生量については、電力事業者別のCO₂排出係数（2014年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.699kg-CO₂/KWh）を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



汚泥処理沈殿槽→浄化した水を排水溝へ



低騒音・排出ガス対策型 0.8 m³バッ



低騒音・排出ガス対策型 クラッシュパイラー

工事別環境経営目標及び実績

工 事 名	港高潮第6-2号高知港海岸（新田町地区）高潮対策工事
工 期	H31. 2. 26 ～ R1. 11. 12
場 所	高知県高知市新田町
概 要	防波堤耐震補強
契 約 金 額	3106百万円 地元業者との共同企業体

☆環境経営目標（現場内で使用するもの）

項目	使用予定量	目標 4%削減	実績	削減率(%)	達成手段
使用燃料	18,768.3	18,017.6	17,775.0	-1.35	1. アイドリングストップ 2. 過負荷の防止 3. エコドライブ
ガソリン (ℓ)	12.3	11.8	25	111.72	
軽油 (ℓ)	18,756.0	18,005.8	17,750.0	-1.42	
電気量 (kW/h)			690.0		
CO ₂ 排出量 (Kg-CO ₂)	92,767.2	89,056.5	87,791.5	-1.42	
ガソリン (ℓ)	43,545.1	41,803.3	41,209.5	-1.42	
軽油 (ℓ)	49,222.1	47,253.2	46,582.0	-1.42	
電気量 (kW/h)			482.3		
使用材料					
鋼管矢板 t	805.3		805.3		N=177
産業廃棄物排出量					
コンクリート殻 m ³			109.2		再資源化率 (100%)

電気量 (kg-CO₂) 使用量 (kW/h) × 0.699=kg-CO₂/kWh

ガソリン 使用量 (ℓ) × 0.0671 (kg-CO₂/MJ) × 34.6 (MJ/kg) =kg-CO₂

軽油 使用量 (ℓ) × 0.0687 (kg-CO₂/MJ) × 38.2 (MJ/kg) =kg-CO₂

達成率 (実績-目標)/目標 × 100

※毎日、作業前打合せ時に上記達成手段を確認する。

結果と評価

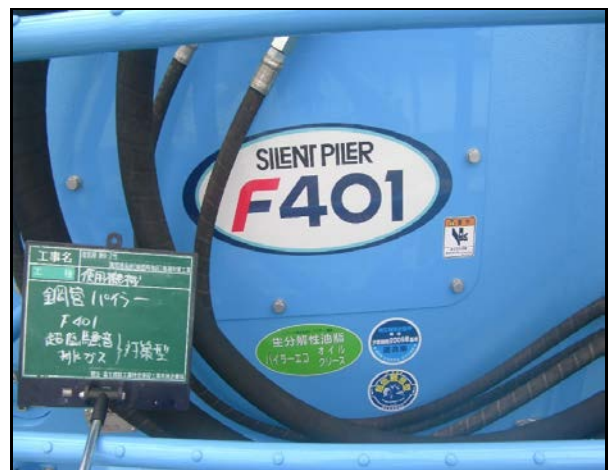
- ①CO₂削減目標は達成できた。今後も作業工程を十分検討すること
 ②クレーン作業は鋼管矢板を打込み時にはほとんど負荷が無いため消費量は削減される。
 ③打込み機械は地盤の硬さに左右されるため多少消費量は変化する。
 但し、警戒船の消費燃料は含みません。

※電力のCO₂発生量については、電力事業者別のCO₂排出係数（2014年12月公表）の四国電力の実排出係数（0.699kg-CO₂/KWh）を使用した。

環境に配慮した現場使用機械



オイルフェンス設置



低騒音・排出ガス対策型 鋼管パイ



排出ガス対策・エコオイル仕様型 クラックパイラー

8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

期間：令和元年度（令和元年5月～令和2年4月）

（事務所）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール	達成状況・是正				評価/指示
			5月・・・4月	各部門長				(環境管理責任者)
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境経営目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→	×	◎	◎	◎	○/続けて努力
	排水量の削減		→	×	×	×	×	×/出来ていない
	一般廃棄物排出量の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	グリーン調達の推進		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

環境活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	休憩時間帯の消灯		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	空調温度の適正化(冷暖房25℃設定)		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
燃料使用量削減	休憩時間のエンジンストップ	営業部長	→	○	○	○	○	○/続けて努力
	アイドリングストップ		→	△	△	△	△	△/意識して励行
	急加速・急停車の防止		→	△	△	△	○	△/意識して努力
	エコ安全ドライブ		→	△	△	△	△	×出来ていない
	低燃費車への切替の検討		→	×	◎	◎	×	△/代替2台
排水量削減	水道蛇口のこまめな開閉	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	節水を呼び掛ける		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	水道配管からの漏水チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
一般廃棄物排出量削減	コピーの失敗を削減	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	裏紙を活用する		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	印刷用紙の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
グリーン購入推進	エコ商品の購入拡大	総務部長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
社会貢献清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→	◎	◎	◎	△	○/続けて努力

※達成状況◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

- ①今年度は燃料消費量が大幅に増大した、活動が多かったのが原因と思われる。
- ②エコカー代替えについては対象車両2台
- ③一般廃棄物については失敗をしないように注意して印刷行っている。
- ④グリーン購入最近の商品がほとんどエコ商品になっている。
- ⑤水道量は事務所での節水は徹底しているが、原因はお風呂の使用量と思われ注意喚起を行った。

期間：令和元年度（令和元年5月～令和2年4月）

（現場）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール	達成状況・是正				評価/指示
			5月・・・4月	各部門長				(環境管理責任者)
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境経営目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→	×	×	◎	◎	△/原因究明し改善
	排水量の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	産業廃棄物排出量の削減		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	環境に配慮した工事の実施		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

環境経営活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	現場 責任者	→	×	×	×	×	×/意識を持つよう指導
	休憩時間帯の消灯		→	×	×	×	×	×/意識を持つよう指導
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→	×	×	×	×	×/意識を持つよう指導
	空調温度の適正化（冷暖房25℃設定）		→	×	×	×	×	×/適切な温度管理を指導
燃料使用量削減	休憩時間のエンジンストップ	現場 責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	重機の過負荷の防止		→	×	×	○	○	△/朝礼時に指導
	アイドリングストップ		→	×	×	○	◎	△/朝礼時に指導
	急加速・急停車の防止		→	×	△	△	○	△/朝礼時に指導
	エコ安全ドライブ		→	×	△	△	○	△/朝礼時に指導
排水量削減	水道蛇口のこまめな開閉	現場 責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	節水を呼び掛ける		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	水道配管からの漏水チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
産業廃棄物排出 量削減	マニフェストによる適正処理	現場責任者	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	再生、再利用の推進		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	廃棄物分別の徹底		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
船舶関係 海洋汚染防止	油の排出の禁止	船長	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	有害液体物質の排出の禁止		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	海洋汚染の防止設備チェック		→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行
	エコ操船		→	×	×	×	×	×/意識を持つよう指導
社会貢献清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→	◎	◎	◎	△	○/続けて努力
環境に配慮した 工事の実施	施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減	全員	→	◎	◎	◎	◎	◎/続けて励行

※達成状況

◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

①燃料消費量は前半期は増大したものの後半期は削減でき全体では二酸化炭素の排出量の削減できた。 ②その他の項目はほぼ削減目標をクリアしているのでこのまま継続 ③ロードボランティアが2、3月と現場が忙しく活動ができなかったので施工調整を行う。 ④工期延長の現場及び事務所設置箇所も近年になく増えた為、電気消費量が大幅に増大した。
--

9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間：令和2年度（令和2年5月～令和3年4月）

（事務所）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール	達成状況・是正				評価/指示
			5月・・・4月	各部門長				（環境管理責任者）
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境経営目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→					
	排水量の削減		→					
	一般廃棄物排出量の削減		→					
	グリーン調達の推進		→					

環境経営活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	総務部長	→					
	休憩時間帯の消灯		→					
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→					
	空調温度の適正化（冷暖房25℃設定）		→					
燃料使用量削減	休憩時間のエンジンストップ	営業部長	→					
	アイドリングストップ		→					
	急加速・急停車の防止		→					
	エコ安全ドライブ		→					
排水量削減	水道蛇口のこまめな開閉	総務部長	→					
	節水を呼び掛ける		→					
	水道配管からの漏水チェック		→					
一般廃棄物排出量削減	コピーの失敗を削減	総務部長	→					
	裏紙を活用する		→					
	印刷用紙の削減		→					
グリーン購入推進	エコ商品の購入拡大	総務部長	→					
社会貢献清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→					

※達成状況 ◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

【総合評価】

期間：令和2年度（令和2年5月～令和3年4月）

（現場）

（達成状況・評価チェック：8月・11月・2月・5月）

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール	達成状況・是正				評価/指示
			5月・・・4月	各部門長				（環境管理責任者）
				Q1	Q2	Q3	Q4	
環境経営目標	CO ₂ 排出量の削減	代表取締役 社長	→					
	排水量の削減		→					
	産業廃棄物排出量の削減		→					
	環境に配慮した工事の実施		→					

環境経営活動計画

電力使用量削減	不要な照明の消灯	現場 責任者	→					
	休憩時間帯の消灯		→					
	プリンター、コピー機の夜間電源OFF		→					
	空調温度の適正化（冷暖房25℃設定）		→					
燃料使用量削減	休憩時間のエンジンストップ	現場 責任者	→					
	重機の過負荷の防止		→					
	アイドリングストップ		→					
	急加速・急停車の防止		→					
	エコ安全ドライブ		→					
排水量削減	水道蛇口のこまめな開閉	現場 責任者	→					
	節水を呼び掛ける		→					
	水道配管からの漏水チェック		→					
産業廃棄物排出 量削減	マニフェストによる適正処理	現場責任者	→					
	再生、再利用の推進		→					
	廃棄物分別の徹底		→					
船舶関係 海洋汚染防止	油の排出の禁止	船長	→					
	有害液体物質の排出の禁止		→					
	海洋汚染の防止設備チェック		→					
	エコ操船		→					
社会貢献清掃活動	会社周辺の清掃美化活動	全員	→					
環境に配慮した 工事の実施	施工方法及び騒音・振動・粉塵等低減・二酸化炭素排出量の削減	全員	→					

【総合評価】

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適応条項	具体的内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務	○
		事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理	○
		産業廃棄物の委託契約	
	第12条の三	多量排出業者は計画の実施状況を都道府県知事に報告	○
産業廃棄物保管基準	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	○
	第12条の三の四	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事への提出	○
建設リサイクル法	第8条	周囲に囲いが設けられていること。見やすい箇所に掲示板が設けられていること。縦及び横それぞれ六十センチメートル以上であること。掲示板には産業廃棄物の保管の場所、保管する産業廃棄物の種類、保管の場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先。保管の場所から産業廃棄物が飛散し、流出し、及び地下に浸透し、並びに悪臭が発散しないように措置を講ずること。	○
建設リサイクル法	第104号	分別解体、再資源化の促進	○
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	○
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	○
環境基本法	第91号第8条	事業活動に伴う公害を防止し、自然環境の保全措置を講ずる	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	第117号第5条	事業活動及び日常生活に関し、温室効果ガスの排出抑制のための措置を講ずるように努める	○
グリーン購入法	第100号第5条	出来るだけ環境物品を選択購入する	○
海洋汚染等及び海上災害	第4条	船舶からの油の排出の禁止	○
	第5条	油による海洋汚染の防止の為の設備設置	
	第6条	油濁防止管理者の選任	
	第9条の2～4	船舶からの有害液体物質の排出の禁止 有害液体物質による海洋の汚染の防止の為の設備設置 有害液体汚染防止管理者の選任	○
高知県環境基本条例 第1章第6条 事業者の責務	第1項	事業者は、その事業活動を行うに当たっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、必要な措置を講ずる責務を有する。	○
	第2項	事業者は、環境の保全上の支障を防止するため、物の製造、加工又は販売その他の事業活動を行うに当たって、その事業活動に係る製品その他の物が廃棄物となった場合にその適正な処理が図られることとなるように必要な措置を講ずる責務を有する。	○
	第3項	前2項に定めるもののほか、事業者は、環境の保全上の支障を防止するため、物の製造、加工又は販売その他の事業活動を行うに当たって、その事業活動に係る製品その他の物が使用され、又は廃棄されることによる環境への負荷の低減に資するように努めるとともに、その事業活動において、再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない。	○
	第4項	前3項に定めるもののほか、事業者は、その事業活動に関し、これに伴う環境への負荷の低減その他環境の保全及び創造に自ら努めるとともに、県又は市町村が実施する環境の保全及び創造に関する施策に協力する責務を有する。	○
土佐市環境美化条例 第5条事業者の責務	第1項	事業者は、空き缶等及びごみの散乱防止並びに空き缶等の再資源化の促進について、従業員に対する意識の啓発を図るとともに、当該事業所及びその周辺において環境美化活動に努めなければならない	○
	第2項	事業者は、その事業活動により地域的美観を損なうことのないように必要な措置を講ずるよう努めなければならない	○
	第3項	事業者は、市がこの条例の目的を達成するため実施する施策に協力しなければならない。	○
冷媒用フロン の排出禁止	フロン排出 抑制法86条	何人も、みだりに特定製品に冷媒として充填されているフロン類を大気中に放出してはならない	○
浄化槽	保守点検	浄化槽の保守点検、浄化槽の処理対象人数及び処理方式に応じ省令第6条に規定する期間毎に1回以上行わなければならない。	○
	清掃	浄化槽の清掃は、省令第3条に規定する技術上の基準に従い、法令10条第1項の規定により毎年1回以上行わなければならない	○
大気汚染防止法法律第97号	第2章の2粉じんに関する規制	第18条の15(特定粉じん排出等作業の実施の届出) 解体工事(特定粉じん排出等作業を伴う工事)を施工する者は、作業開始の日の24日前までに、都道府県知事に届け出なければならない。	○

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直しの結果（令和元年5月～令和2年4月）

【取組状況の評価結果】	【環境経営方針】	【環境経営方針】
全体的には目標を達成しているなかで、事務所はガソリン使用量2年連続目標を達成できず、水道使用量の増加で目標を達成できず。現場では電気使用量の増加で目標をクリアできていない状況である。	①ガソリン使用量削減	経費削減等の意識改革は常に持っている。事務所のガソリン使用量が少しずつは減っているので目標を達成できるようエコドライブを心がけるように指示をした。 全員で常に意識を持って業務に当たるよう指示。使用台数も増加したので目標値を再検討するように指示。
	②電気使用量削減	昨年度は現場数も例年より多かったこともあり使用量が增大したが、不在時等の消灯、エアコンスイッチOFFを指示。また退社時のプリンター電源OFFなど意識を持って節電するよう指示。
	③水道使用量削減	宿舎に1名増員となったことで目標値を再検討するように指示。 変更の必要性 有 無 ◎
《目標の達成度》	《目標》	《目標・環境経営活動計画》
全体的には目標を達成しておりますが、事務所のガソリン使用量と水道使用量が現場では電気使用量がオーバーしている。工事の受注量が一定したものでないで個々の管理を十分していくのが今後の課題となる。	例年の事ではありませんが、工事受注量が変化中、施工内容も多種多様であり各人が柔軟に対応にしていすることで目標達成につながる。 また、余裕の持った工程管理を常に意識していくことで周りの環境にも順応できる様今後も努力が必要であり、全員の意識向上がCO₂削減、経費削減につながっていく。	目標 ①天候などに左右されない工程、余裕の持った工程を作成し、工期に余裕を持つことを心がける。 ②エコドライブ励行 ③エコ操船、クレーン負荷操作の削減、アイドリングストップの励行 ④船底に付着している貝等を除去し負荷を軽減させるよう整備を行う 変更の必要性 有 ◎ 令和2年度は基準値を変更 無
（周囲の変化状況）	（システムの各要素）	（経営システムの各要素）
周辺環境の変化について注視しながら、影響を考えるように努力をする。 環境についての要望事項は特にありません。	社員同士の意見交換をしながら今後の工程に生かす。 また、上層部は各現場の状況をしっかり把握し、指導する。 毎月1回の上層部打ち合わせにより意識向上。	経費削減を再認識してもらう。 1、今後もエコカーを中心に代替を検討する。 2、余裕をもった工程管理に努めることで使用量の削減となる。（経費削減） 3、全員で冷暖房設備の温度設定管理、不必要な電源はOFFを意識をもって日々活動をする。 4、重機関係の使用時間の管理 5、船舶の回航・えい航は工程を考慮して無駄をなくすように努力する。 変更の必要性 有 無 ◎

☆社会貢献清掃活動等

ロードボランティア活動(道路清掃活動及びカーブミラー磨き)

※ 路線名(県道須崎仁ノ線) 土佐市宇佐地区(宇佐町福浜～東ノ丁まで約1.0km区間)

※ 路線名(市道橋田灘南線延長L=250m)

※ 高知海岸パートナーシップ(新居海岸清掃)



カーブミラー清掃
(県道須崎仁ノ線)
高知県管轄



ゴミ拾い
(県道須崎仁ノ線)
高知県管轄



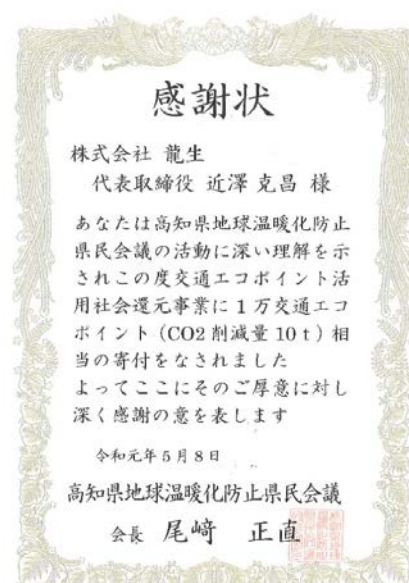
ゴミ拾い
(市道橋田灘南線)
土佐市管轄



ゴミ拾い
(海岸パートナーシップ)
新居海岸
国土交通省管轄



令和元年度
高知県優良建設工事施工者表彰
優良賞受賞



感謝状
株式会社 龍生
代表取締役 近澤 克昌 様
あなたは高知県地球温暖化防止
県民会議の活動に深い理解を示
されこの度交通エコポイント活
用社会還元事業に1万交通エコ
ポイント(CO2削減量10t)相
当の寄付をなされました
よってここにそのご厚意に対し
深く感謝の意を表します

令和元年5月8日

高知県地球温暖化防止県民会議

会長 尾崎 正直